

◆提供者のメリット

学術研究成果の可視性向上

Google等の検索エンジンに加え、JAIRO, CiNii(国立情報学研究所)やOAIster(世界最大のメタデータデータベース)を通じて、世界中のリポジトリを横断検索できるので可視性が向上します。またこれまで一部にのみ流通していた資料の入手を容易にします。その結果、学内外に対し研究への認知と理解を期待できます。



影響力(インパクト)の向上

無料で世界中に発信することで、研究の影響力(インパクト)や論文の被引用率の向上が期待できます。



研究業績の保存・継承

散逸しやすいデジタルデータを個人の手から大学の一元的管理へ移行することで、研究業績(学術研究成果)の永続的な保存と発信が保障されます。
自身の研究業績をリポジトリで包括的に保存でき、利活用がおこなえる上、収集・管理され、後世に継承されます。

◆登録できるコンテンツ

- 学術論文
- 科学研究費補助金研究成果報告書
- 学内研究助成金成果報告書
- 紀要掲載論文
- 講義資料・教材
- シラバス
- 学位論文
- 学会関連資料
- その他

* 文書・画像ファイル(WorD、Power Pointなど)は基本的に電子ファイル(PDF)に変換の上、公開します。

* 特許申請などにかかわらず一定期間公表できないものは、希望日以降の公開となります。

◆著作権について

著作権はどうなるの？

リポジトリに公開・登録されても著作権は移転しません。
著者の許諾を得た学術研究成果のみ登録・公開します。

著作権が著者にある場合

著者の許諾により公開可能

共著者がいる場合は、全員の許諾を事前におとりください。

著作権が出版者にある場合

出版者の許諾があれば公開可能

商業出版社や学協会から発行される学術雑誌に掲載された論文の著作権は多くの場合、発行者へ譲渡されています。
海外の出版社の9割は掲載された論文を機関リポジトリへ登録することを認めています。公開可否の最終的な判断は、出版者等の示す条件のもとで図書館が行います。